

令和1年度学校関係者評価報告書

学校法人川江学園
お宮の里幼稚園

1. 本園の教育目標

「心豊かdeganばる子ども」の姿を目指して、知育、徳育、体育の理念を大切にされた適切な指導と環境を設定し、子ども達の人間形成の基礎を培い、心身の発達を助長する。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

本園の教育理念、教育方針のもと、その教育目標に沿った評価項目について自己点検・自己評価を実施することによって、教職員が客観的に自らを振り返り、教育内容の改善に取り組むとともに安全管理面においては、繰り返し避難訓練を行って、反省と改善を積み重ねていく。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	取り組み状況
1	保育計画の策定	本園の教育目標、教育方針を共通理解したうえで、幼児の日頃の姿を観察し、子ども達の興味関心に基づいた計画を策定するように心がけた。また、教職員間において計画策定の経緯と実践効果について会議を行い、情報共有に努めた。
2	保育の質の向上	本園の方針に則り、教職員一同協力して知識や技術の獲得のための研修を重ねて、日々の保育に反映できるようにした。また、毎月1回のペースで大学教授を迎えて園内研修を行い、より良い保育環境作りを重点テーマにして会議を重ねた。
3	安全管理	緊急時（事故や怪我、感染症の発生時等）の対応手順について、全教職員が共通理解をもてるように取り組むとともに、様々な想定のもとで毎月一回の避難訓練を実施した。また新たに不審者対応についての避難訓練も行った。

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

重点的に取り組むべき目標や計画、課題について、全教職員が認識し、自己点検・自己評価に取り組み、自らの保育や安全管理を振り返ることで、段階的に改善することができたと思われる。今後も継続的にこれらの目標を掲げることで更なる保育の質の向上を図っていきたいと考えている。

5. 今後取り組む課題

	評価項目	取り組み状況
1	中堅教諭の育成	認定こども園への移行に向けて、教職員の増員が必須であることから新規採用教諭に対する園の教育目標や教育方針に対する理解の促進を行うとともにコーチングが出来る中堅教諭の育成を図っていく。
2	保護者への情報発信	園の教育目標や教育方針に対する理解の促進を図っていくことが必要と思われる。具体的には「おたより」等を通じて、日頃の幼児の姿だけでなく、どのような背景から保育を実践しているのか、どのような経緯で行事種目としたのか等を伝えていく。
3	教諭の保育技術向上	研修会等の参加によって得た知識や保育技術を実践し、反省するとともに教師間における知識や技術の共有化を進めることで、教諭の技術水準を引き上げていく。

6. 学校関係者の評価

園の教育目標、方針を教職員一人ひとりに浸透していることがうかがえる。子ども達の興味関心を読み取り、保育へ展開していくことでのびのびと楽しく取り組んでいる姿が見られた。

学校関係者評価委員 印

学校関係者評価委員 印

学校関係者評価委員 印

委員会実施日 令和2年2月6日